



テトラパック サステナビリティレポート2022



私たちが動かす目的

「テトラパックは、サステナビリティトランスフォーメーション（持続可能性への転換）を推進する、という高い目標を設定しています。これを実現するのは、バリューチェーン全体での具体的な活動のみであると、私は認識しています。そのために必要になるのが、環境、社会および経済といった相互に関連している課題に取り組むためのシステム全体にわたる強力なパートナーシップの活用です。課題をどうやって乗り越えていくか、コラボレーションがこれまで以上に大切になってきます。」

ADOLFO ORIVE

社長兼CEO





明確な目標と具体的な計画

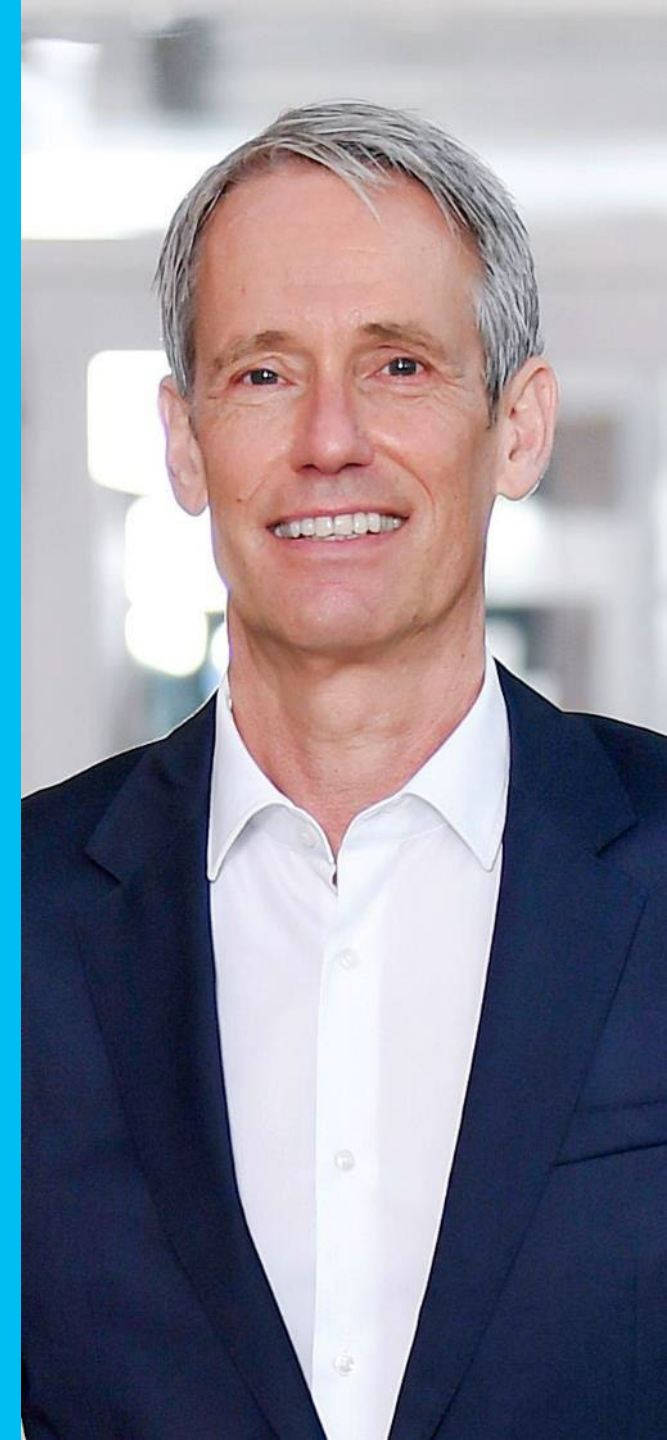
“

先頭に立ってサステナビリティトランスフォーメーション(持続可能性への転換)を進めるのが、テトラパックの目標です。これは、テトラパックが事業を展開する食品・飲料業界とコミュニティーに提供する製品とサービスを通して、持続可能な成長を進め、世界に良い影響を与えることを意味します。

サステナビリティの目標達成に向けた明確な方針、意味のある目標と活動、および具体的な計画の確立は、テトラパックにとって重要です。そして、進捗を監視し、継続的に目標および活動内容を見直しています。これによって、テトラパックの取り組みが関係各所の皆様にとって意義のあることか、ベストプラクティスであるか、そして最先端の科学に基づいているかを確認しています。

LARS HOLMQUIST

執行副社長
サステナビリティ&
コミュニケーション担当





テトラパックのサステナビリティへのアプローチ

70年前の創業以来、サステナビリティはテトラパックの事業の中核です。テトラパックは地球と社会を守りつつ、食品の入手可能性と食品安全性の向上、食品ロスの削減、資源活用および物流効率の改善に取り組んでいます。

私たちのビジョン、関係者の皆様の期待、そしてこの業界で最も重要な環境・社会・ガバナンス(ESG)の課題が、常にテトラパックのアプローチの原動力です。サステナビリティは、2030 Strategy(2030戦略)の4つの柱の1つであり、私たちの戦略において不可欠です。

テトラパックは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)をサポートし、国連グローバルコンパクトおよびその10原則に対する18年にわたる取り組みを強化しています。





テトラパックのサステナビリティ優先事項

テトラパックの事業および関係各所に関連する項目

2021重要性マトリックス

以下の14項目は、関係各所における重要度および事業への影響の可能性に基づき優先順位が決められています。

食品

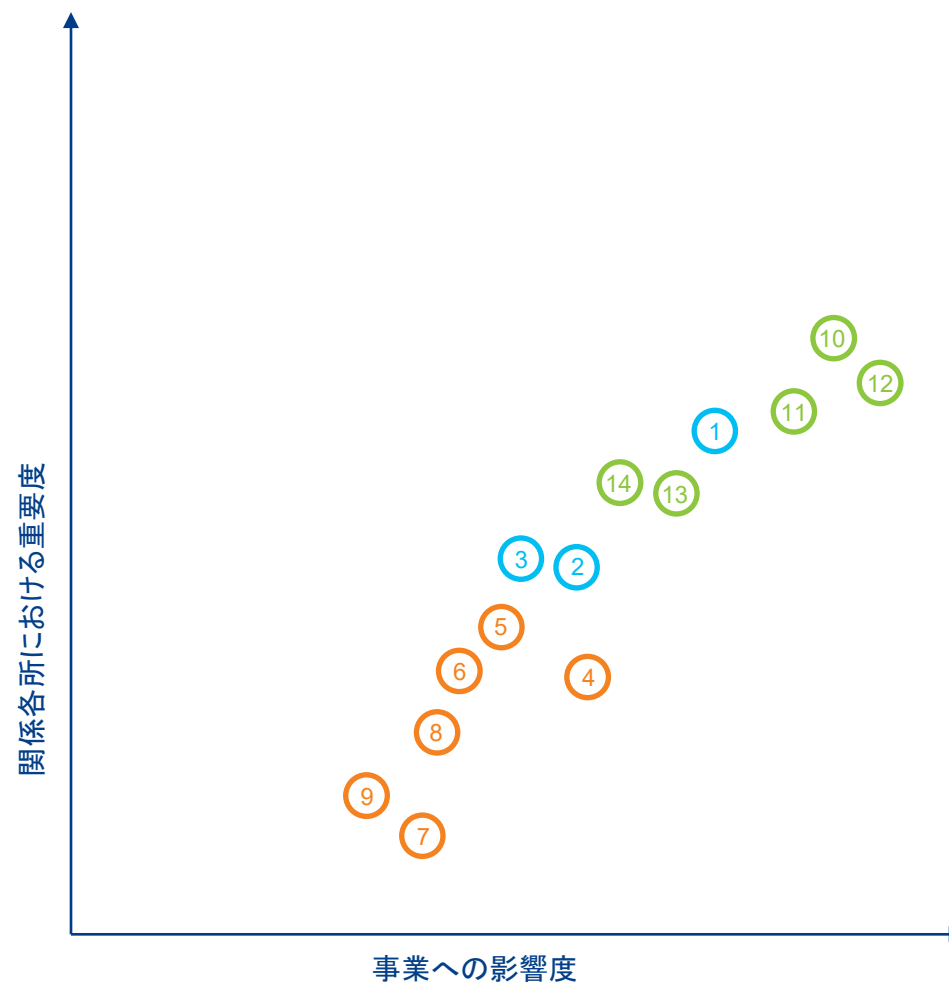
- ① 食品の安全性と品質
- ② 食品ロス
- ③ 食品の入手可能性とレジリエンス

人々

- ④ 従業員の健康、安全、ウェルビーイング
- ⑤ 企業倫理
- ⑥ 人権
- ⑦ 人材の能力開発とエンゲージメント
- ⑧ ダイバーシティ&インクルージョン
- ⑨ 責任あるマーケティングとコミュニケーション

地球

- ⑩ 気候と脱炭素化
- ⑪ 責任ある原材料調達
- ⑫ 循環型とリサイクル
- ⑬ 生物多様性と自然
- ⑭ 水の管理





確実に回復力のある持続可能な食品システムへの貢献

テトラパックの約束

世界の食品システムが現在および将来の全人口のニーズを確実に満たすようにするには、世界の食料生産や消費の方法を変えるために協力しなければなりません。テトラパックは、長年にわたり蓄積してきた専門知識、テクノロジーやパートナーシップを活用し、食品を安全に世界中のどこでも入手できるようにすることを約束します。



2021年の成果

- 回復力のある食品システムの構築で食品加工処理技術および容器包装ソリューションが果たす役割についての座談会を開始しました。
- 食品の品質保持期限の延長による食糧不足の解消、地域の食品システムの強化を促進しました。
- 潜在的な食品廃棄物を使用し、栄養価の高い食品への変換を支援しました。
- 製品の完全なトレーサビリティに向け、食品加工処理および容器包装のバリューチェーン全体で活動を継続しました。
- 小規模酪農家の生産性および市場アクセスを改善し、地産の高品質な牛乳を長期的に供給できるようにしました。
- テトラパックのプロダクトディベロップメントセンターとアクセラレータラボでは、栄養強化食品と飲料のイノベーションの追求に向け研究が続けられました。
- 主要な国際食品安全基準に準拠するよう、食品・飲料メーカーを支援しました。





確実に回復力のある持続可能な食品システムへの貢献

テトラパックの約束

世界の食品システムが現在および将来の全人口のニーズを確実に満たせるようになるには、世界の食料生産や消費の方法を変えるために協力しなければなりません。テトラパックは、長年にわたり蓄積してきた専門知識、テクノロジーやパートナーシップを活用し、食品を安全に世界中のどこでも入手できるようにすることを約束します。

今後の進め方

- 国連食料サミットの目標を支える6つの重要項目に基づき、多くの関係者と協力しています。
- デイリーハブイニシアチブを拡充させ、効果を強化しています。
- 食品加工処理および容器包装のバリューチェーン全体での透明性、説明責任および品質管理を継続して強化しています。
- 持続可能な原材料、植物由来原材料、代替タンパク質など、革新的な食品加工処理技術を継続して開発しています。





自然への取り組み

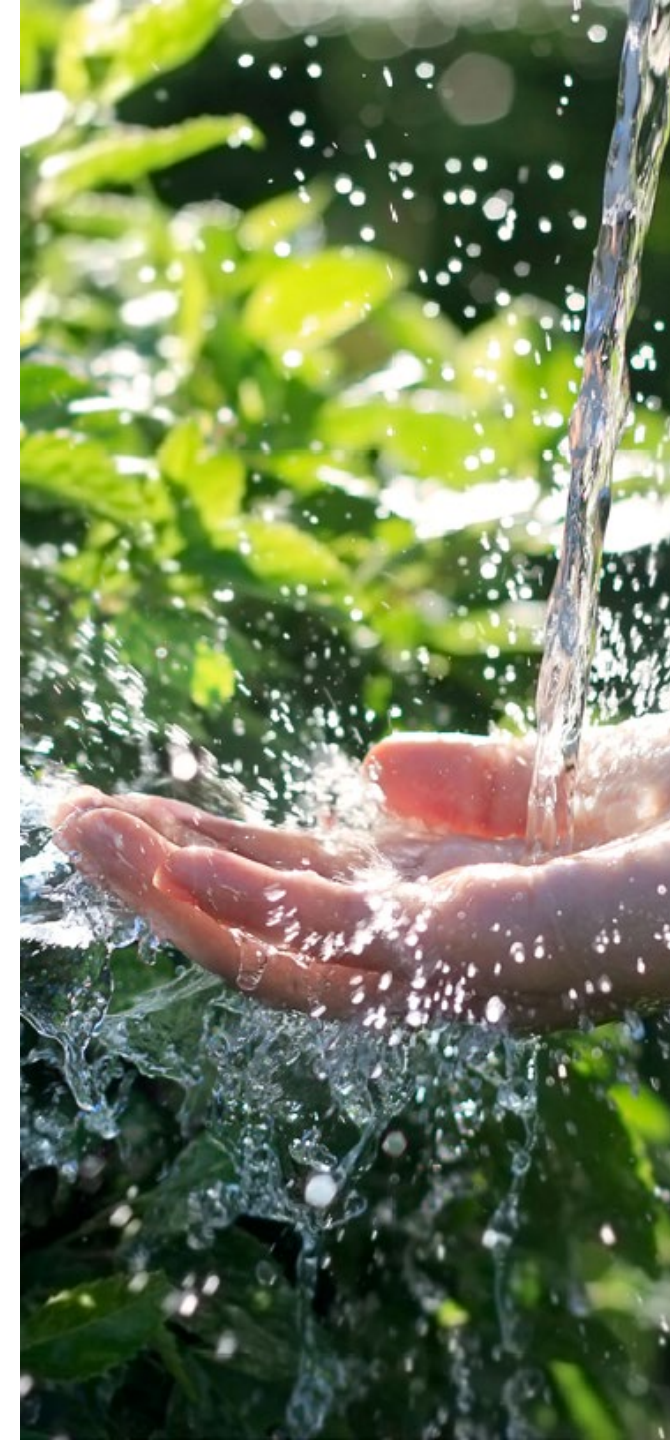
テトラパックの約束

生物多様性の危機をくい止め、温室効果ガスの排出による気温上昇を1.5°Cに抑えるために、自然を守り復元する活動は不可欠です。テトラパックは、食品を安全にどこでも入手できるようにする、という約束に取り組み、さらに「大切なものを包んでいます」の約束に従って食品、人々、地球を守ります。テトラパックは、世界人口が増加している環境においても安全で栄養価の高い食品を届けるために、バリューチェーン全体を通して自然資源の保全を目指します。



2021年の成果

- テトラパックの板紙の原料となる繊維の調達に、持続可能な方法で管理された地域および森林破壊のない地域のみであることを保証しました。
- テトラパックの「Join us in protecting the planet (地球を守る活動への参加)」お取引先持続可能性イニシアティブを介し、お取引先45社がパートナーになりました。
- ウォータースチュワードシップ戦略により、水消費量削減を優先しました。
- テトラパックの紙容器の板紙すべてはFSC™が認証する森林やその他の管理された森林から調達されていることを保証しました。
- テトラパックのベストプラクティス食品処理ラインの水の消費量を2030年までに50%低減する取り組みを継続しました。
- テトラパックのサトウキビのバリューチェーン総合的な評価を実施しました。
- 大地修復プロジェクトに積極的取り組み、気候への影響と森林破壊を軽減することで、生物多様性、生態系回復、地域社会の健康を促進するように活動しました。





自然への取り組み

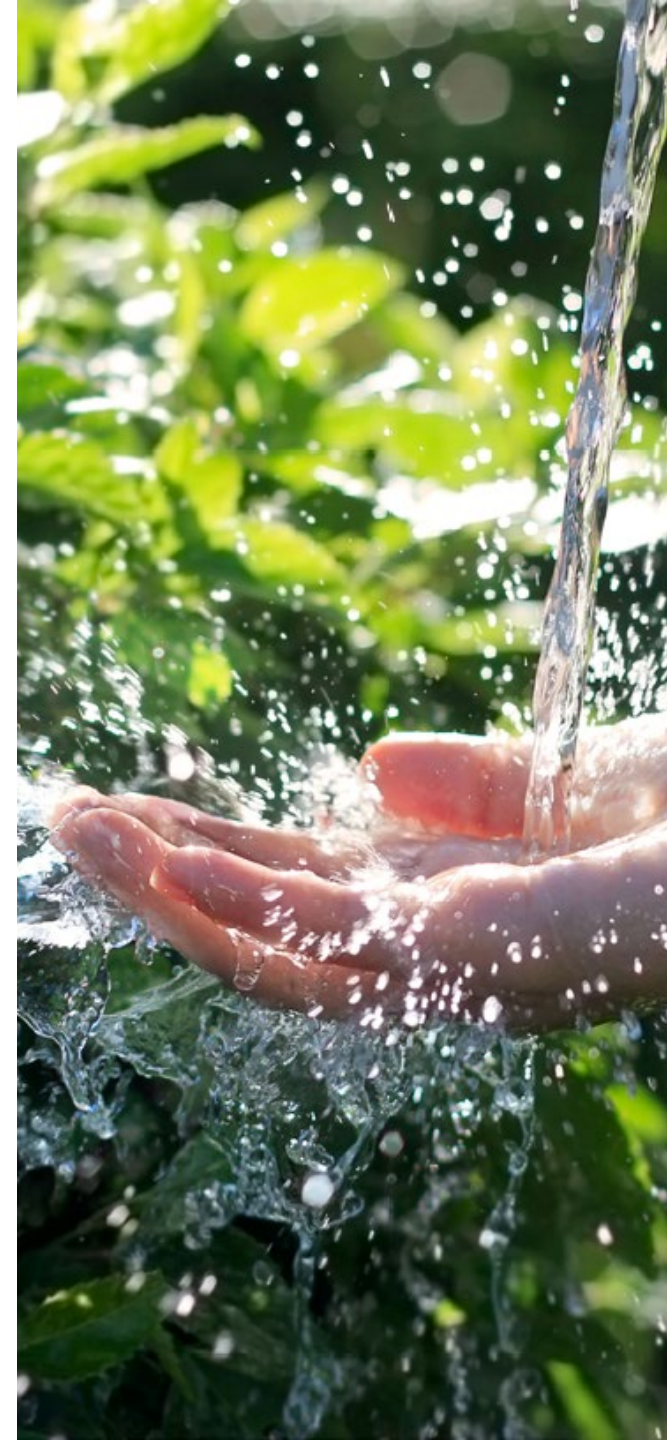
テトラパックの約束

生物多様性の危機をくい止め、温室効果ガスの排出による気温上昇を1.5°Cに抑えるために、自然を守り復元する活動は不可欠です。テトラパックは、食品を安全にどこでも入手できるようにする、という約束に取り組み、さらに「大切なものを包んでいます」の約束に従って食品、人々、地球を守ります。テトラパックは、世界人口が増加している環境においても安全で栄養価の高い食品を届けるために、バリューチェーン全体を通して自然資源の保全を目指します。



今後の進め方

- 水に関する完全なバリューチェーン分析を2022年に完了し、CDPの2023年のWater Disclosureに報告を開始します。
- 水の効果的な管理の推進や報奨制度などを決定する、水の持続可能な使用の普遍的な枠組みを推進します。
- ランドスケープおよびジュリスディクショナルアプローチに関するCDP Nature Positive Challenge and Disclosureに参加します。
- SPP(サステナブル調達協定)に参加し、セクターの協業を推進します。
- SBTN(Science Based Targets Network)のコーポレートエンゲージメントプログラムに貢献します。
- 生態系回復および科学に基づくソリューションへの取り組みをさらに進めます。
- 「Join us in protecting the planet(地球を守る活動への参加)」イニシアチブの一環として、原材料のお取引先との協働を継続します。





気候への対策

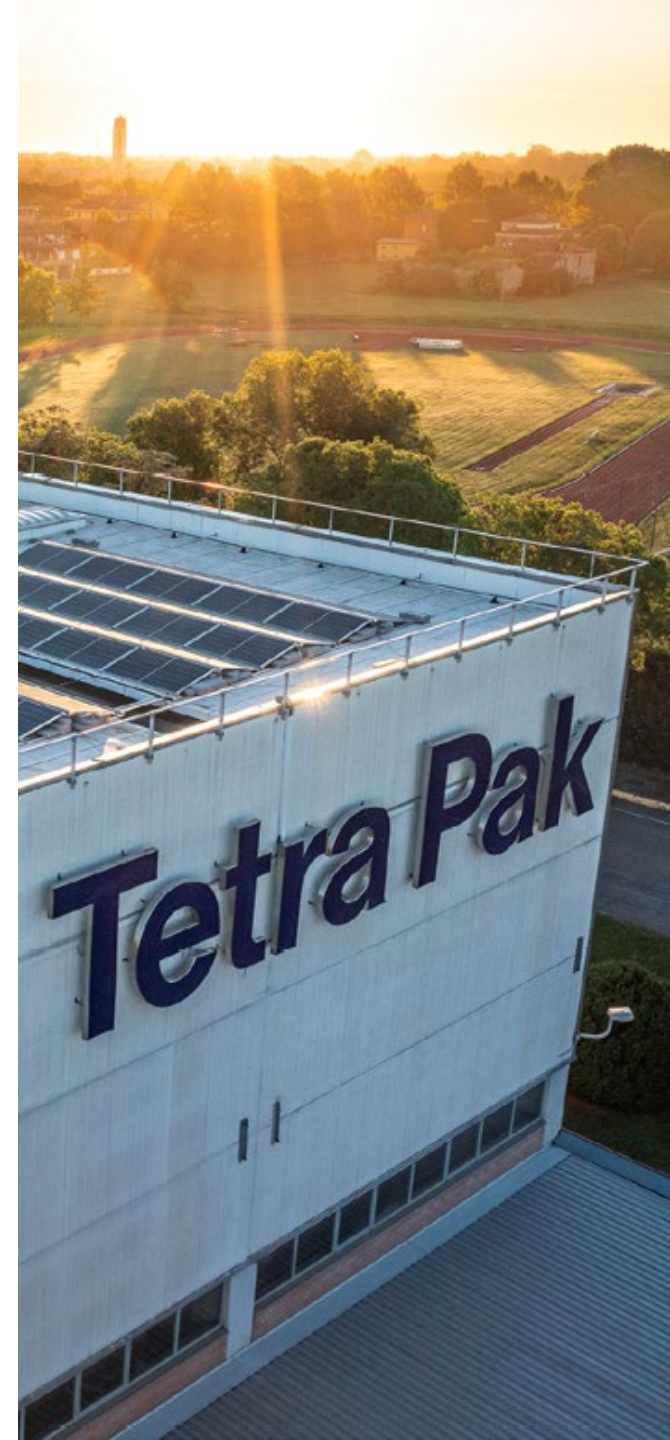
テトラパックの約束

人類の生産活動による温室効果ガスの排出の約1/3は、食品産業が占めています。テトラパックでは、自社事業およびバリューチェーンの温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを確約しています。食品の安全性や品質に一切妥協することなく持続可能な未来の実現を追求し、関係各所と様々な活動を積極的に進めています。



2021年の成果

- テトラパックは2019年対比で、温室効果ガス排出量の運用フットプリント(スコープ1、2および出張)を2021年に36%削減しました。
- 1.5°C抑制目標に賛同し、Business Ambition for 1.5 °Cキャンペーンに署名しました。
- 健康的で回復力のあるゼロカーボンの未来に向けた活動の1つとして、ゼロへのレースキャンペーンを支援しました。
- パリ協定を前に進めるために、世界経済フォーラム(WEF)のCEO気候リーダーズ同盟に参加しました。
- 6年間連続で、CDPの気候プログラムのリーダーシップバンドに選ばれました。





気候への対策

テトラパックの約束

人類の生産活動による温室効果ガスの排出の約1/3は、食品産業が占めています。テトラパックでは、自社事業およびバリューチェーンの温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを確約しています。食品の安全性や品質に一切妥協することなく持続可能な未来の実現を追求し、関係各所と様々な活動を積極的に進めています。



今後の進め方

- 施設内の車両および保有車の化石燃料使用の段階的廃止を進めます。
- テトラパックの原材料のお取引先が、新しいSBTi企業ネットゼロ基準に確実に認証されるようにします。
- テトラパックのケータリングサービスで、温室効果ガス排出量を低減する方法を特定します。
- 2030年までにテトラパックのすべての施設における再生可能電力の100%調達を続けます。
- トータルシステムアプローチを維持し、食品・飲料メーカーの事業におけるサステナビリティ向上に貢献します。
- 2030年までに、水の消費量、食品廃棄およびカーボンフットプリントの半減を目標に、持続可能な食加工処理装置およびラインを中心とした改善に取り組みます。
- アルミ代替のバリア素材として紙繊維ベースの技術検証を継続して実施します。





循環型ソリューションの推進

テトラパックの約束

廃棄物の誤った管理は人間の健康や地域の生態系を危険にさらし、同時に気候変動への影響を悪化させます。テトラパックは、資源の効率的な管理に取り組んでいます。私たちは、食品・飲料メーカー事業における食品廃棄の削減、エネルギーと水の使用量削減を可能にする食品加工処理や充填装置の開発、刷新を続けています。



2021年の成果

- 2021年には、500億個の紙容器が回収され、リサイクル工程に送られました。これは、120万トンに相当します。
- 信頼性、透明性、および妥当性を改善するために、リサイクルの報告方法を見直し、更新しました。
- テトラパックは、責任ある方法で調達された再生可能な原材料またはリサイクル材のみを使用した紙容器、リサイクル可能でカーボンニュートラルな世界で最もサステナブルな食品用紙容器を提供するための取り組みを継続しました。
- 世界中のパートナーと緊密に連携して、紙容器のリサイクル処理能力（紙およびポリアル）を拡大しました。
- 食品廃棄、エネルギーと水の使用量の削減をするために、食加工処理装置に循環型の設計原理を適用しました。また、機器の耐用年数延長に加え、中古機器リユース、機器改修、リサイクルの機会創出も含まれました。





循環型ソリューションの推進

テトラパックの約束

廃棄物の誤った管理は人間の健康や地域の生態系を危険にさらし、同時に気候変動への影響を悪化させます。テトラパックは、資源の効率的な管理に取り組んでいます。私たちは、食品・飲料メーカー事業における食品廃棄の削減、エネルギーと水の使用量削減を可能にする食品加工処理や充填装置の開発、刷新を続けています。



今後の進め方

- 2025年までに、ヨーロッパで販売される紙容器全体の再生ポリマー含有率を平均10%以上にする取り組みを続けます。
- 紙容器の回収への投資を継続し、製紙工場やポリアルのリサイクル業者の処理能力を増強します。
- 年間約4,000万ユーロを投資して、確実にリサイクル率を向上させます。
- 食品加工処理装置の改修、中古機器リユース、またはリサイクルに関する取り組みを拡張します。
- 2022年初めより、食品用紙容器初となる紙繊維バリア使用容器の常温流通テストを実施しています。





人とコミュニティの社会豊かな環境の創出

テトラパックの約束

持続不可能な食品システムは、食品の安全に対する保障がないだけでなく環境を圧迫し、栄養失調や飢餓の問題を解決できないままにしています。テトラパックは、食品加工処理および容器包装ソリューションを通して、毎日、数百万人の人々の生活に影響を与えています。健全で公平な受容性豊かな社会の創出に貢献すること、バリューチェーン全体がコミュニティの豊かな社会環境を創出すること、これらを私たちは約束します。



2021年の成果

- 能力開発、エンゲージメントに対し重点的に取り組みました。
- ウェルビーイングプログラムを立ち上げました。
- 男女均等と受容性を支援する全社的なメンタープログラムに投資しました。
- いじめ、差別、ハラスメントを防止する世界的なキャンペーン「Speak Up！」を継続しました。
- すべての従業員がサステナビリティのアンバサダーを認識するように、SustainABLEプログラムの提供を開始し、初めてのテトラパックラーニングカンファレンスを企画しました。
- 本当の意味の多様な職場環境実現に向けて取り組み続けました。テトラパックが目標とする職場環境は、従業員の誰もが生き立ちや経歴に関係なく、尊敬され受容され、充足感を得られ、平等に機会が与えられる環境です。
- デイリーハブモデルによる小規模酪農家へのトレーニングの提供、高品質な牛乳を調達する食品・飲料メーカーへのリンクの形成を通して、持続可能なバリューチェーンの構築を支援しました。
- 学校給食プログラムの一環として、41か国の6100万人の子どもたちに、テトラパックの紙容器入りの牛乳と栄養価の高い飲料を届けました。





人とコミュニティの社会豊かな環境の創出

テトラパックの約束

持続不可能な食品システムは、食品の安全に対する保障がないだけでなく環境を圧迫し、栄養失調や飢餓の問題を解決できないままにしています。テトラパックは、食品加工処理および容器包装ソリューションを通して、毎日、数百万人の人々の生活に影響を与えています。健全で公平な受容性豊かな社会の創出に貢献すること、バリューチェーン全体がコミュニティの豊かな社会環境を創出すること、これらを私たちは約束します。



今後の進め方

- 現在も継続中のD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)戦略を維持し、すべての多様性グループのそれぞれの障壁を特定し取り除きます。
- 従業員のメンタルウェルビーイングのサポートを継続し対象の範囲を拡大します。
- バリューチェーン全体にプラスの社会的影響をもたらすイニシアチブの実施を継続し、テトラパックとお取引先が事業を展開するコミュニティを守り、支援します。
- リーダーの育成を中心に再構築されたリーダーシップアクセラレーションプログラムの立ち上げ、さらに工場の従業員に特化した新しいトレーニングプログラムの提供を開始します。
- 管理職および工場働く女性の数を増します。





数字で見るテトラパック

2022年1月1日現在



25,147
従業員数



1,920億以上
2021年に販売されたテトラパック® 紙容器

8

テクニカル
トレーニング
センター

6

カスタマー
イノベーション
センター

6

研究開発
センター

53*

製造工場

28

マーケット
カンパニー

94

営業所

111億4,500万ユーロ以上
2021年の純売上高



500億
回収され、リサイクル工程に送られた
紙容器



世界のリサイクル設備
200カ所以上との連携

* 製造工場: 包装資材加工工場 30、キャップ工場 4、ストリップおよびフィルム等副資材工場 3、
ストロー工場 2、加工処理ソリューション生産工場 14



テトラパックは世界をリードする食品の加工および容器包装のソリューション企業です。テトラパックでは、お客様ならびにサプライヤーと緊密に協力することで、安全で革新的、そして環境優位性の高い製品を提供しています。このような製品は、160 を超える国で数億人にも及ぶ人々の毎日のニーズに応えています。世界各国で 25,000 名を超える従業員を擁するテトラパックは、業界における責任あるリーダーシップおよびビジネスへの持続可能なアプローチを信念として掲げています。

www.tetrapak.com/jp

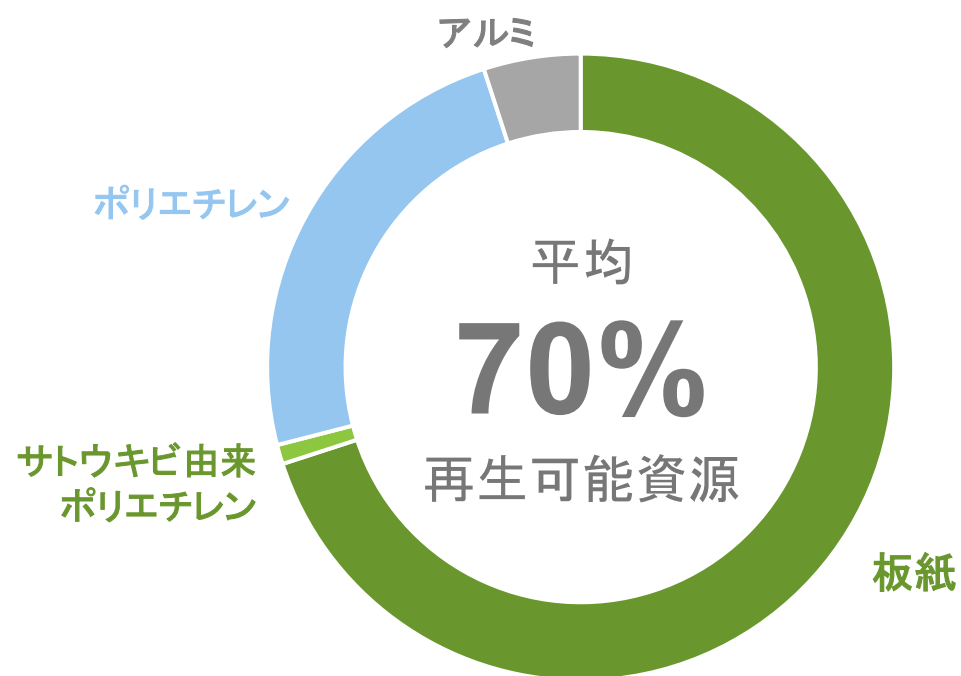
紙容器の環境訴求 リサイクル





紙容器の70%以上は再生可能資源を使用

植物由来素材やリサイクル素材を使用することで低炭素・循環型を実現





テトラパック紙容器ポートフォリオの方向性

世界で最もサステナブルな食品用紙容器を目指す

環境優位性を高める



循環型を促進する



SUSTAINABLE
OPENINGS

RENEWABLE
PACKAGE

RECYCLED
CONTENT

ENABLE RECYCLING
by DESIGN

環境に配慮したコン
CEPTの開口

再生可能資源の使用
比率を上げる

リサイクル素材を使用
した紙容器

リサイクルしやすい紙
容器設計



フィールドテスト(2022)





原紙の責任調達を示すFSC® 森林認証

テトラパックの紙容器は全てFSC認証取得



The mark of responsible forestry

Forest Stewardship Council

- ▶ 1993年に設立された、世界の森林の責任ある管理を促進する非政府・非営利の独立組織
- ▶ 環境保全の点から見て適切で、社会的な利益にかなない、経済的にも継続可能な森林管理を推進することを目的とした第三者認証サービスを提供
- ▶ FSC認証の紙容器を採用することで14のSDG達成に貢献

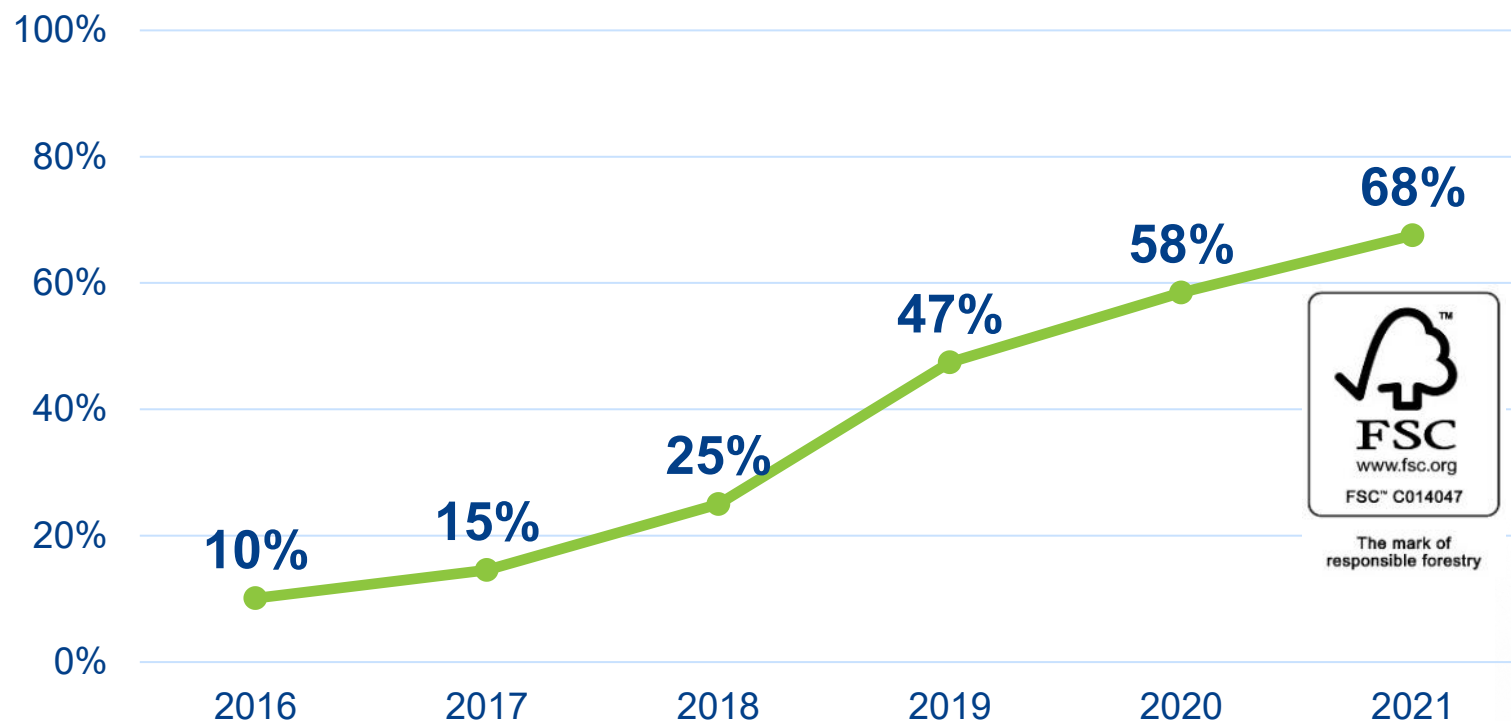




原紙の責任調達を示すFSC® 森林認証

FSC認証ラベル付き商品が急増、責任調達を分かりやすくアピール

FSC認証ラベルの付いた容器の出荷に占める割合 (日本国内出荷数量ベース)





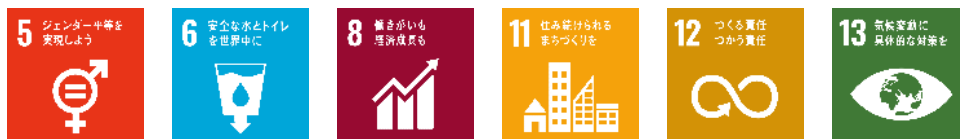
プラスチックの責任調達 ボンスクロ認証

植物由来プラスチックの原料サトウキビの認証制度



Bonsucro

- ▶ 2008年に設立された世界的なNPO団体(本部:イギリス)
- ▶ 世界中の持続可能なサトウキビの生産、製造、流通を目指し、WWF(世界自然保護基金)が支援
- ▶ 食品・飲料向け容器としては、テトラパックが世界で初めて認証を取得
- ▶ 容器外面、内面ポリエチレンコーティングやキャップに使用(オプション)
- ▶ ボンスクロ認証の植物由来プラスチックを採用することで6つのSDGs達成に貢献





植物由来プラスチック採用による二酸化炭素削減 石油由来原料との比較で削減率を明示

Carbon Trust

- ▶ 2001年にイギリスで設立、非政府組織
- ▶ 脱炭素社会の実現に向けて企業、政府、団体と協力、支援
- ▶ テトラパックはカーボントラストの協力を得て、紙容器の炭素排出量を削減、その可視化に取り組む
- ▶ Carbon Trustラベルは、植物由来素材を使用した紙容器の消費以降も含めた炭素排出の削減率を容器に掲載、訴求



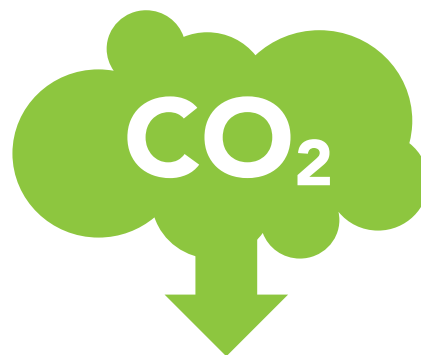


二酸化炭素削減率の見える化

植物由来素材の比率を上げることで、削減に貢献

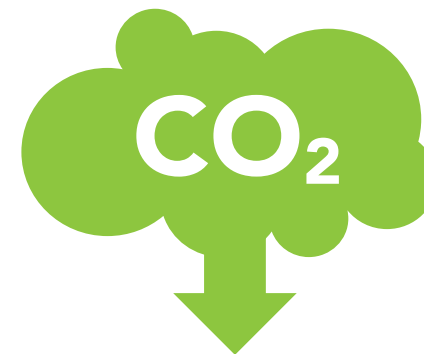


CARBON TRUST  CO2排出を減らす容器	植物由来プラスチックの採用により、この容器はCO2排出量をX%削減することを the Carbon Trust™により認証されています。詳しくは下記をご参照ください。 carbontrust.com/tetrapak
--	--



8%

キャップを植物由来へ変更した場合の削減率



19%

キャップ、コーティングを植物由来へ変更した場合の削減率



世界中で紙容器リサイクル施設は200か所

Collection and recycling in practice and at scale



27%

世界中でリサイクルされる
テトラパック紙容器



リサイクル向上のためのパートナーシップや連携 様々な企業や業界団体と連携

戦略的 パートナーシップ

KADANT



ポリエチレン、アルミのリサイクル技術をパートナー各社と開発



グローバル 業界団体・連携



各国・地域 業界団体・連携



各地域の紙容器回収・リサイクル各社と連携





紙容器の店頭回収・リサイクルの構築

アルミ付き紙容器の回収拠点等検索

「アルミ付き紙容器をお買物のついでにリサイクルできたらいいな。」お近くのスーパー、生協でアルミ付き紙容器を回収しているか検索してみてください。牛乳パックと比べると回収拠点の数は多いとはいえませんが、アルミ付き紙容器リサイクルのネットワークは全国に広がっています。（生協は宅配ルートも含みます）
*アルミ付き紙容器はロングライフ紙パックとも呼ばれます。中身の充填方法と、紙パックの内側にアルミ箔がコーティングされていることから、長期常温保存が可能となっています。

▶ アルミ付き容器の回収拠点の拡大

▶ 首都圏の回収拠点でのコミュニケーション





テトラパックのベルマーク運動

学校給食の牛乳パックの回収・リサイクルルートを構築



- ▶ 2011年4月よりスタート、2021年末時点で7,000団体以上が登録
- ▶ ベルマークの社会貢献活動と紙容器リサイクルの環境活動
- ▶ 紙容器がリサイクル可能である認知向上のための教育支援、回収強化
- ▶ テトラパックのロゴ＝ベルマーク
マークを切り取らずに容器をリサイクル施設へ送付、
回収重量に応じてポイントを付与
- ▶ ベルマーク財団の協賛企業内でテトラパックは
トップ10の貢献度
- ▶ 家庭からの紙容器も回収・リサイクル





パートナーシップが成功の鍵 テトラパッカー社では成し得ません

認知向上、行動変容の推進

回収・リサイクルの強化
現場での協業

消費者
エンゲージメント

ブランド
エンゲージメント

回収・分別

リサイクル能力

リサイクル製品の
商業化



業界団体・パートナーシップ

各国・地域での協業モデルの構築

